

カレンダー

※月曜休館 ■は休館日(変更する場合があります)

6月							7月							8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4							1
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
28	29	30					16	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
														30	31					



入館・見学は無料です。

和の空間で四季折々の庭園を眺めながら、
500円で抹茶を
味わえます。
(10時～16時まで)



所在地 大崎市古川福沼1丁目2番2号
電話 0229-24-3385
交通 JR古川駅から徒歩約20分
車 東北自動車道古川ICより車で約10分
駐車場 有
休館日 月曜日
(月曜が祝日の場合は翌日)



祥しょう雲うん閣かく

たより Vol.14

～ご来館者の皆様へ



お知らせとお願い～

祥雲閣では、新型コロナウイルス感染症につきまして感染予防、
拡散防止に細心の注意を払いながら開館しております。

ご来館いただく皆様におかれましても、感染症予防及び拡散防
止のため、ご理解・ご協力をお願いいたします。

- ◆発熱、咳等の風邪症状があるお客様は、回復されてからの
ご来館をお願いいたします。
- ◆感染者が確認された場合のために、連絡先の記入をお願い
します。
- ◆「こまめな手洗い」「アルコール消毒の徹底」のご協力を
お願いいたします。
- ◆咳やくしゃみをする際は、マスクを着用するなど
「咳エチケット」にご協力ください。
- ◆職員は常時マスクを着用して対応をさせていただきます。

※今後の国内及び県内の発生状況に応じて
随時変更となることがあります。

大崎市祥雲閣

令和2年5月27日発行

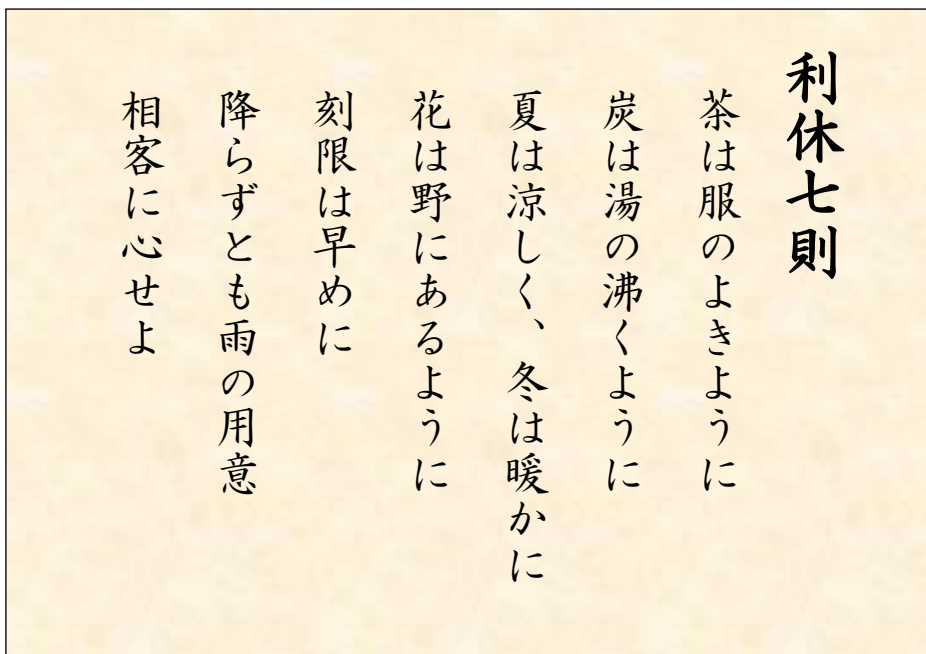
〒989-6105

宮城県大崎市古川福沼一丁目2番2号

TEL・FAX 0229-24-3385

利休七則とは

「利休七則」は千利休が茶の湯の教えを説いたものです。



利休は弟子に「茶道とは何ですか？」と問われ

「お茶は心を込めておいしく点てましょう」

「炭はお湯が沸くように置きましょう」

「もてなしは相手が心地よく感じられるようにしましょう」

「花は自然の中で咲いていた姿を生けましょう」

「時間はゆとりを持ちましょう」

「不慮の事態に備えましょう」

「同席した客を思いやる心を持ちましょう」

と答えたそうです。弟子は「それくらいのことなら私も知っています」と言いました。すると利休は「わかっているてもできないのが人間です。あなたができるなら、あなたの弟子になりましょう」と答えたそうです。

お菓子の いただき方

初めて茶席に入ってお茶をいただく時は誰でも緊張するものです。少しマナーを知っておくだけで、お菓子やお茶をおいしく味わう事ができます。

- ① 次の客に「お先に」とあいさつをする。
- ② 菓子器（お菓子を入れる器）を両手でおしいただく（軽く持ち上げる）
- ③ 菓子をひとつ取って、懐紙（かいし）にのせる
- ④ 懐紙ごと手にのせて菓子をいただく

お菓子はお茶がおいしく感じられるようにお茶をいただく前にいただきます。

お菓子は主菓子（おもがし 季節の生菓子）

干菓子（ひがし 乾いたお菓子）

の2種類があり、主菓子は濃茶、

干菓子は薄茶に用いられます。

茶会などでは薄茶に主菓子が

出される事もあります。

おいしい菓子やお茶をいただき、なごやかな時間を過ごす事で亭主（もてなす側）への感謝の心や他の客への気遣いが自然に生まれます。まずは楽しんで一服してみたいかがでしょうか。

新型コロナウイルス感染症対策で大変な日々が続きますが、一緒に乗り越えましょう！

